

イヌマキ、ラカンマキとの違い

見分け方から分類、木の利用、花言葉までを網羅する完全ガイド

分類	マキ科 (Podocarpaceae) イヌマキ属 (Podocarpus)
樹皮	灰褐色、縦に割れる
用途	庭木、生垣、防風林、建築材
花言葉	慈愛、色あせぬ恋

分類	マキ科 (Podocarpaceae) イヌマキ属 (Podocarpus) 変種
樹皮	灰褐色、滑らか
用途	盆栽、庭木、トピアリー
花言葉	慈愛、高潔

近代植物学者のフィールドジャーナル

Gemini Notebook

科: マキ科
(*Podocarpaceae*)

属: イヌマキ属
(*Podocarpus*)

種: イヌマキ
(*Podocarpus macrophyllus*)

変種: ラカンマキ
(*Podocarpus macrophyllus* var. *maki*)



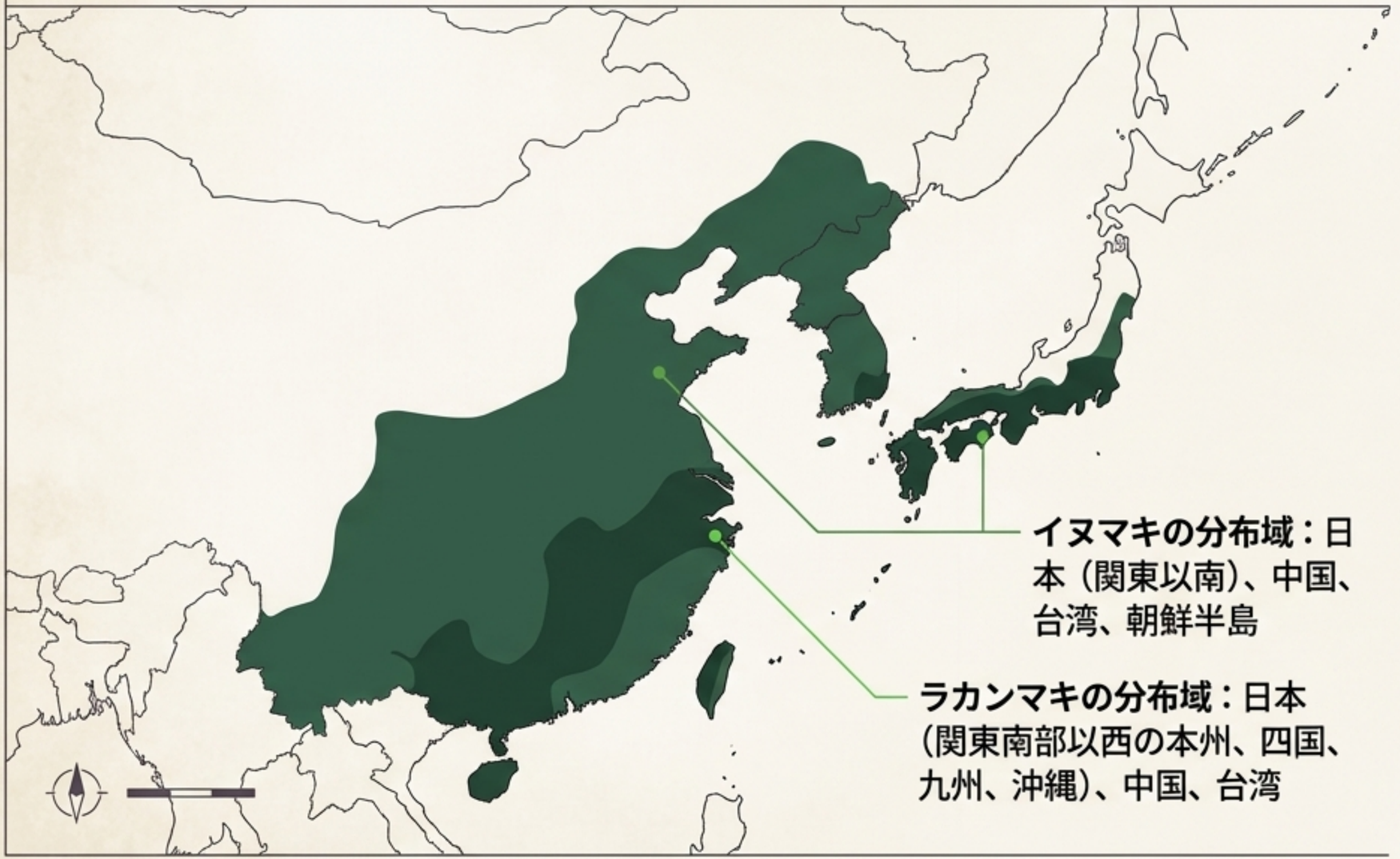
雌雄異株

分類と基本のつながり：同じ血筋を持つ常緑針葉樹

ラカンマキは、イヌマキの「変種」。両者とも雌雄異株（しゆういしゅ）の常緑高木針葉樹であり、遺伝的な近さが外見の類似性を生んでいます。

Gemini Notebook

原産地と分布域：温暖な気候を好む性質



イヌマキの分布域：日本（関東以南）、中国、台湾、朝鮮半島

ラカンマキの分布域：日本（関東南部以西の本州、四国、九州、沖縄）、中国、台湾



生育環境：どちらも日陰に耐え、土質を選ばず丈夫に育つ。病害虫にも強い。



弱点：寒さに弱いため、自然栽培は主に関東以南（温暖な地域）に限られる。

Gemini Notebook

基本の違い：フィールド診断マトリックス

比較項目	イヌマキ（犬槙）	ラカンマキ（羅漢槙）
 葉の大きさ	長さ 10〜18cm 幅 0.7〜1cm （大型）	長さ 4〜8cm 幅 0.4〜0.8cm （小型）
 葉の付き方	間隔をあけて「水平ぎみ」や 下向きにつく	「密」に集まり 「上向き」につく
 最大樹高	15〜20m （高木）	2〜5m程度 （小高木）

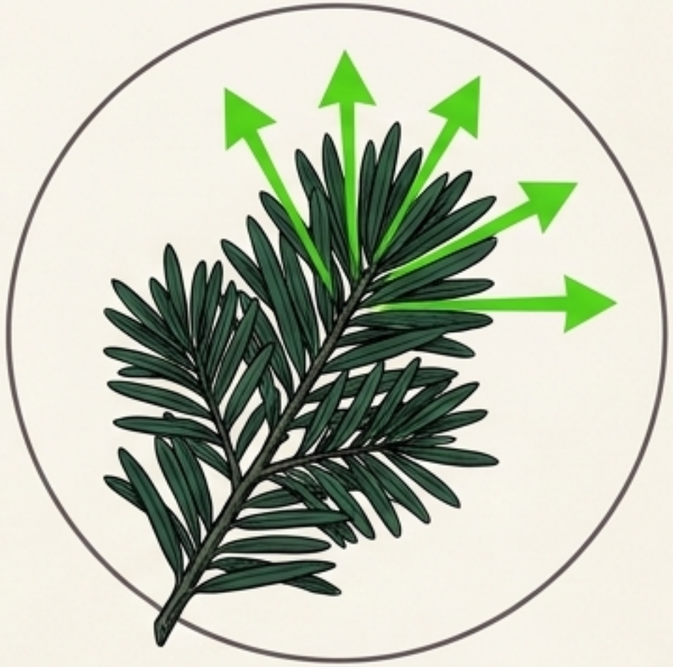
Gemini Notebook

葉の見分け方：サイズと成長のベクトル

両者とも表面は濃緑色で光沢があり、縁にギザギザ（鋸歯）がない扁平な形。



【イヌマキ】
特徴：葉が大きく長く、茎に対して間隔をあけて生える。
方向：重力に従うように水平から下向きに伸びる。



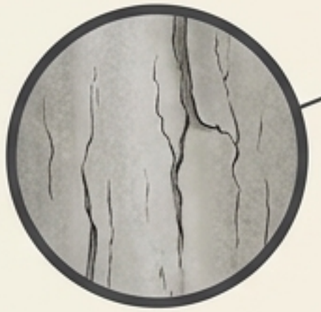
【ラカンマキ】
特徴：葉が短く、小ぶりで密集して生える。
方向：放射状にピンと上を向いて伸びる。

Gemini Notebook

樹形とスケール：圧倒的な高さの差

【イヌマキ】
最大樹高 20m、幹の直径 1mに達する堂々たる巨木。枝が大きく横に広がるダイナミックな樹形。







共通の樹皮：灰白色。年数が経つにつれて縦方向に薄くひび割れ、剥がれ落ちる特徴を持つ。

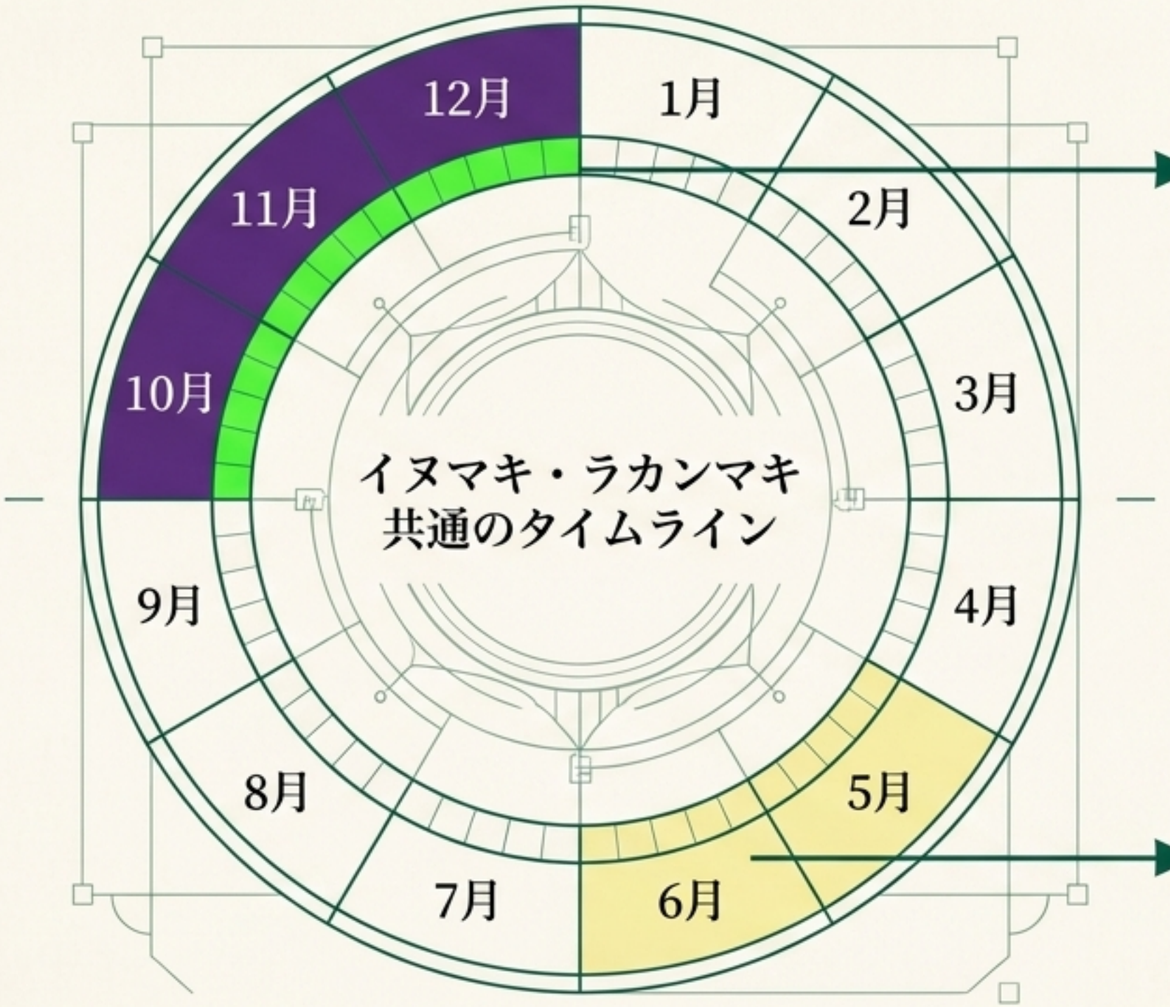
【ラカンマキ】
最大でも 5m程度に収まるコンパクトな常緑小高木。庭木として人工的に形を仕立てやすいサイズ感。





Gemini Notebook

花と実のサイクル：完全に同期する季節の生体リズム



結実期: 独特な形状の実が色づき、熟す季節。

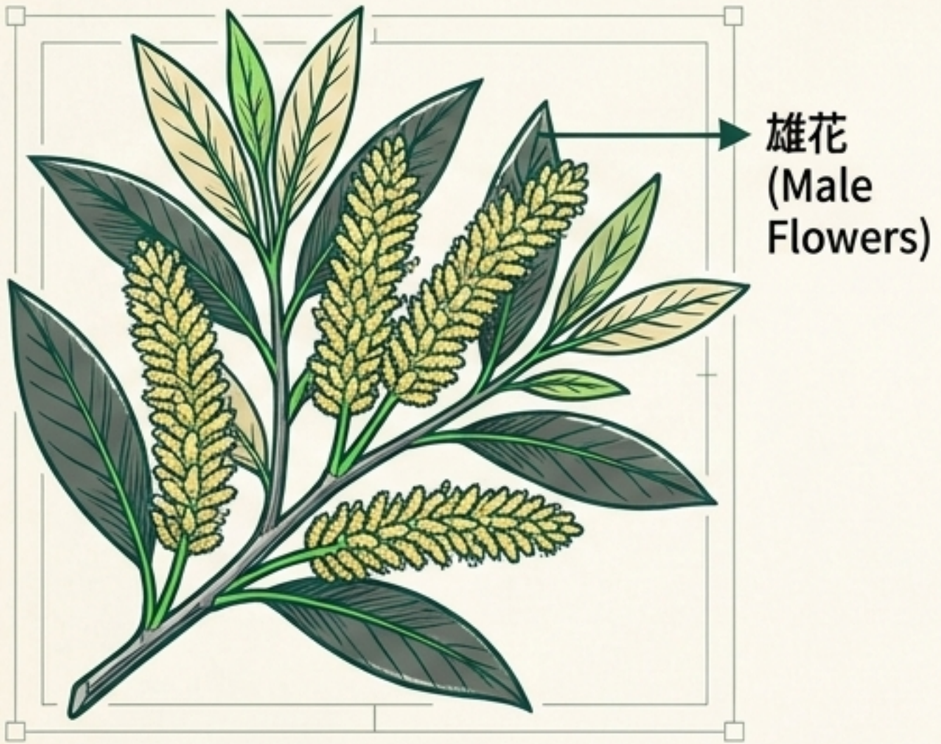
開花期: 雌雄それぞれの樹に花をつける。

見た目やサイズが異なっても、開花と結実のタイミングは変種であるため完全に一致します。

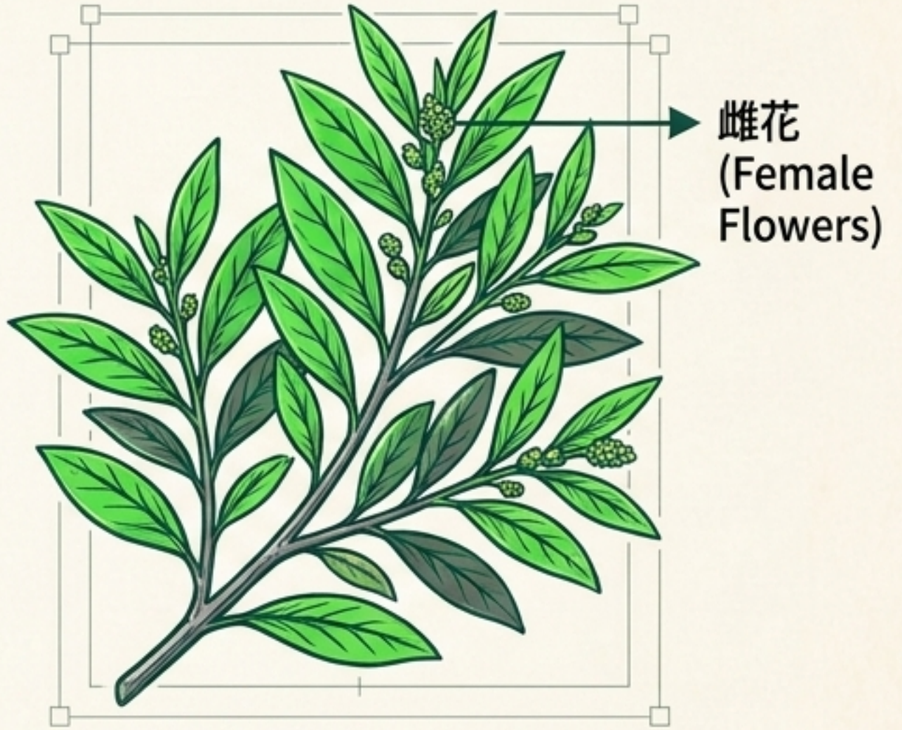
Gemini Notebook

花の特徴：雌雄異株（しゆういしゅ）の仕組み

オスの樹（雄株）とメスの樹（雌株）が存在し、それぞれ異なる形の花を咲かせます。



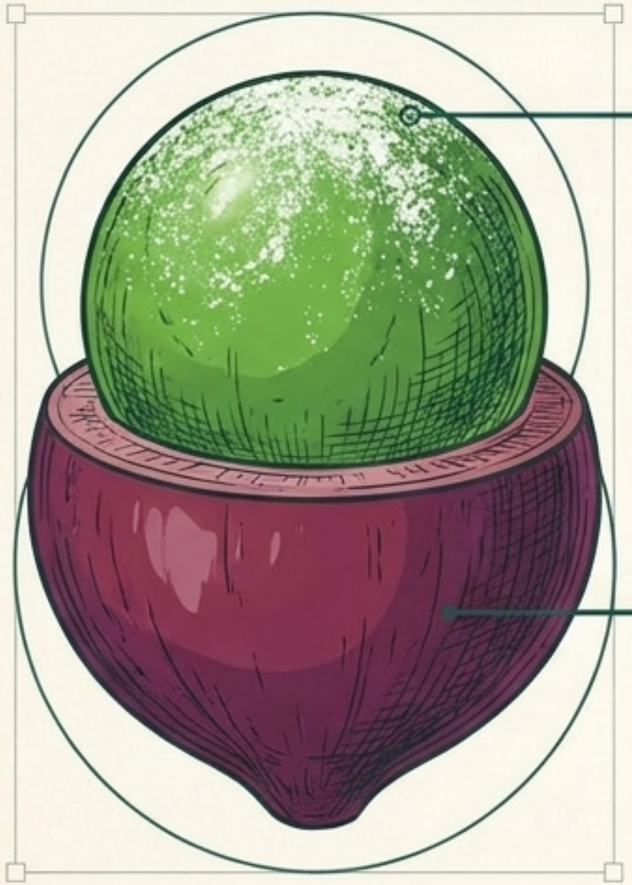
【雄花（Male Flowers）】
形状：長さ約3cmの穂状。
色：淡いクリーム色〜黄色みを帯びる。
特徴：比較的大きく、まとまって咲くため目につきやすい。



【雌花（Female Flowers）】
形状：先端に胚珠（はいしゅ）を持つ小さな粒状。
特徴：まばらにつくため、葉に隠れて非常に見つけにくい。

Gemini Notebook

独特な実の構造：「羅漢」に見立てられた生存戦略



種子 (Seed)
特徴：緑色で表面に白い粉を吹く。
⚠ 注意：有毒成分を含み、絶対に食べられない。

花托 (Receptacle)
特徴：暗紫色～赤色に熟す。
性質：甘みがあり、鳥に食べさせることで種を運ばせる。人間も生食可能。



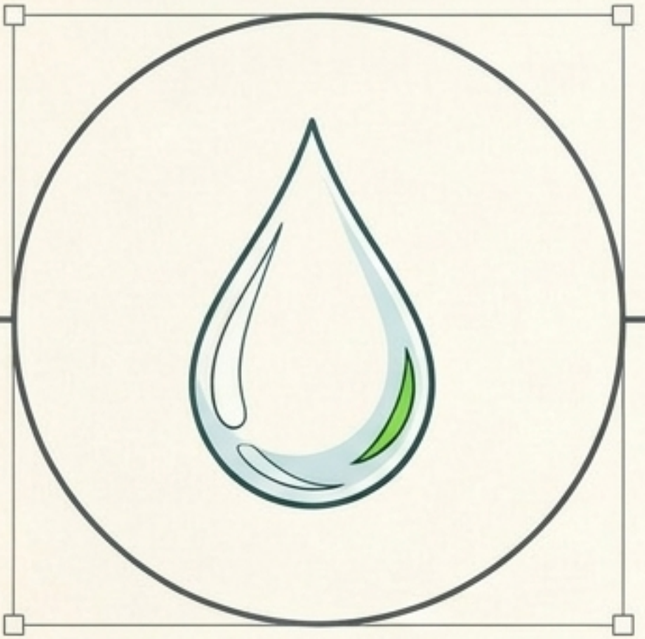
特徴：暗紫色～赤色に熟す。
性質：甘みがあり、鳥に食べさせることで種を運ばせる。人間も生食可能。

名前の由来：この実の形が、袈裟（紫の花托）を着た羅漢・お坊さん（緑の種子）の姿に似ていることから名付けられました。

Gemini Notebook

木の利用（イヌマキ）：水に強い優れた建材

高木であるイヌマキは、古くからその「材」が高く評価されてきました。



【材の特徴】
色合いは美しい淡い黄色。極めて高い耐水性と耐久性を誇る。



【用途】
湿地に建てる家屋の土台や建材。水回りの道具、特に伝統的な風呂おけの材料として重宝される。



【幹の性質】
幹が螺旋状（らせん状）にねじれれて成長しやすく、乾燥すると割れやすいという一面もあります。

Gemini Notebook

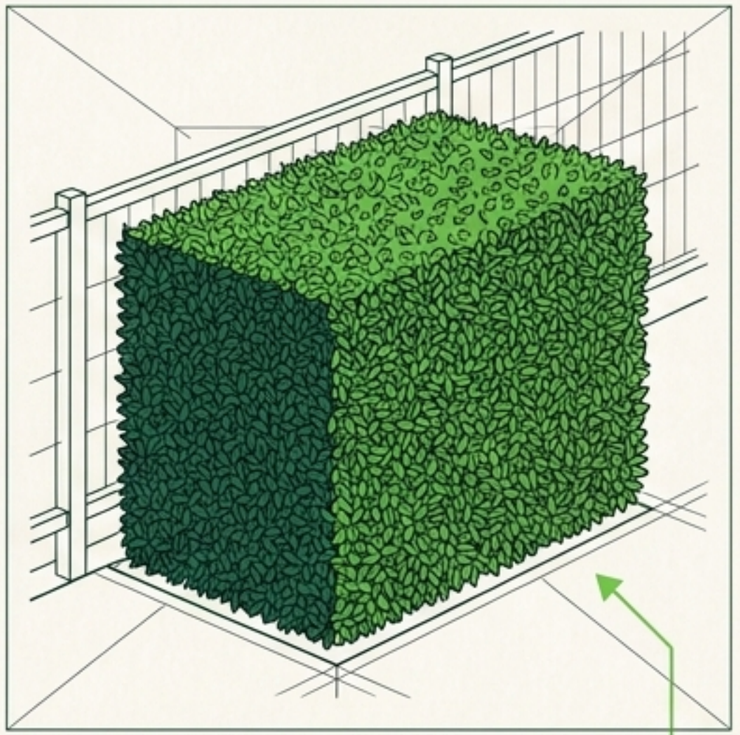
庭木としての活用：防風林から造形美まで

日陰に強く、土壌を選ばない。剪定に強く、病害虫が少ないため日本の庭園に欠かせない存在。



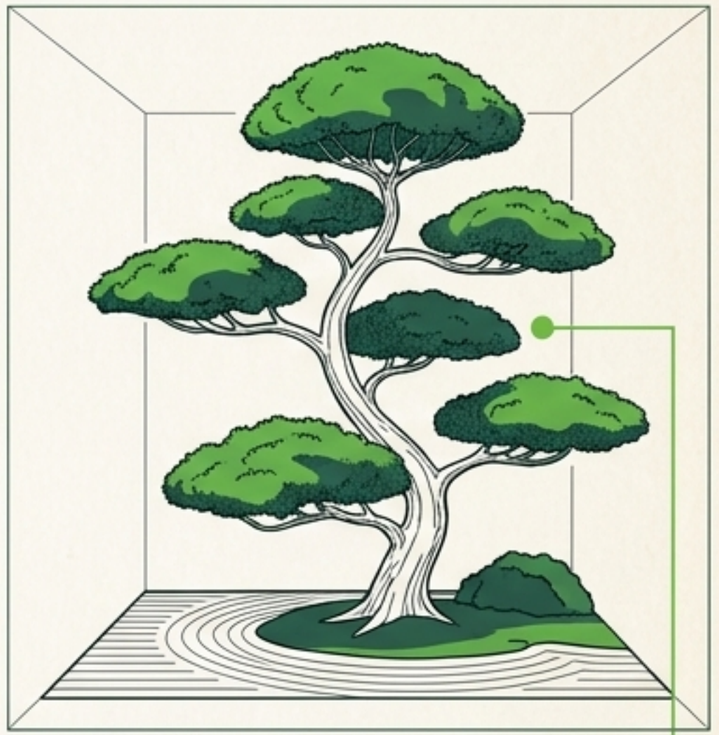
【イヌマキの役割】防風林

家を守るための高い壁として機能。枝などを切ると独特の匂いがするため「クサマキ（臭槙）」という別名も持つ。



【ラカンマキの役割】生垣

葉が小さく密集して生えるため、ハサミを入れた際の仕上がりが非常に美しく、緻密な造形に向いている。

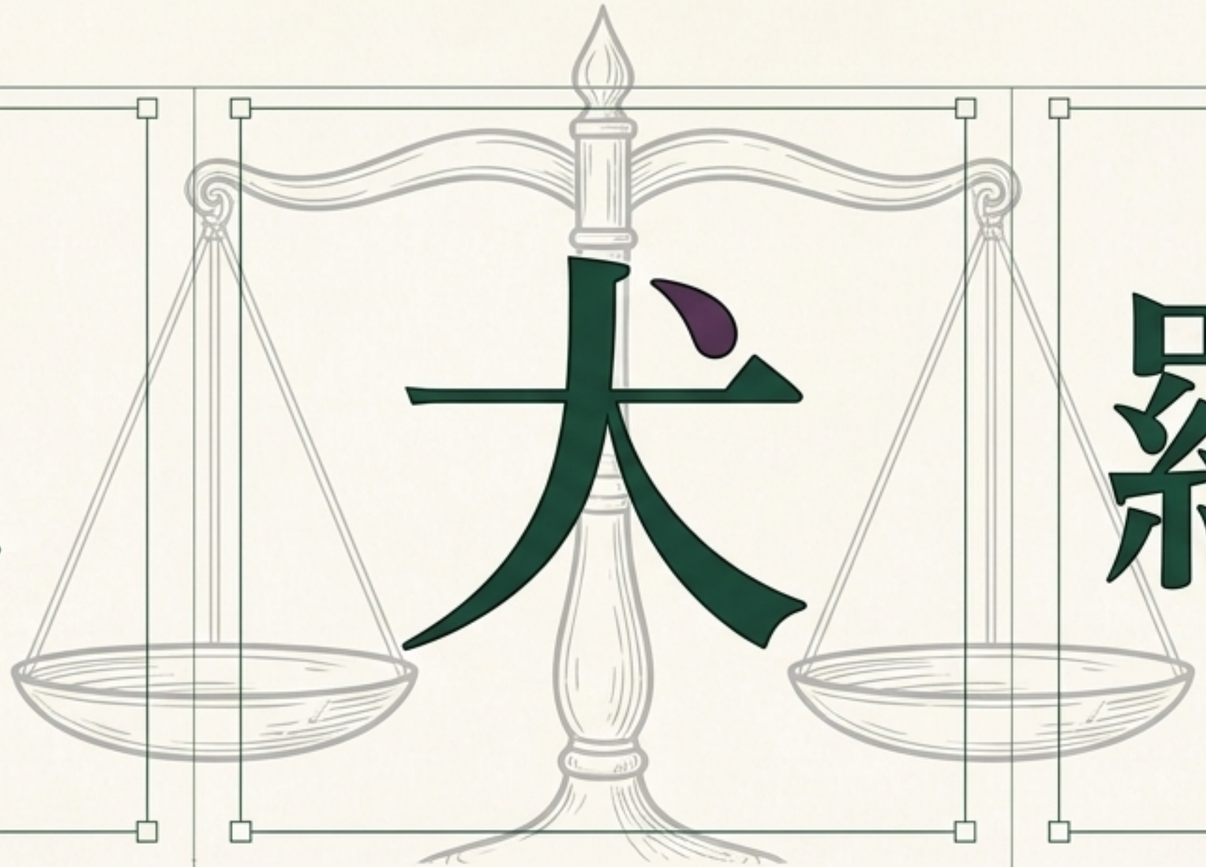


【ラカンマキの役割】庭木

コンパクトな樹形と密生する葉を活かし、庭園の主役となる芸術的な仕立てが施される。

Gemini Notebook

名前の由来：真の木と、劣る木と、僧侶



真

犬

羅漢

コウヤマキ（高野槙）＝「真木」

古来、まっすぐに伸びる優れた建築材（杉や檜など）を「マキ（真木）」と呼んだ。水に強く仏花にも使われる日本固有種。

イヌマキ（犬槙）＝「劣る木」

「ホンマキ」に比べ、幹が螺旋状にねじれて成長し、材として割れやすく姿形が劣るとされたため、「犬（＝劣る）」を冠して名付けられた。

ラカンマキ（羅漢槙）＝「僧侶の木」

劣るという意味はなく、その可愛らしい実の形を仏道修行の最高位である羅漢（僧侶）に見立てた親愛の名称。

Gemini Notebook

花言葉と誕生花：風景を守る木に込められた意味

【イヌマキ（犬槙）】

花言葉：「慈愛」「色褪せぬ恋」

由来：防風林や生垣として過酷な環境から家や人を守り続ける姿と、常緑樹として一年中色褪せない美しい緑の葉を保つことに由来します。

誕生花：不明

【ラカンマキ（羅漢槙）】

花言葉：「慈悲」

由来：その名の通り、羅漢(悟りを開いた高僧)の姿にちなみ、仏教的な深いあわれみと優しさを表しています。

誕生花：12月4日

Gemini Notebook

まとめ：日本の風景を彩る、２つの常緑樹

【分類】

ラカンマキはイヌマキの変種であり、共にマキ科の雌雄異株。

【識別】

葉のサイズと向き（水平なイヌマキ、上向きのラカンマキ）、そして樹高が最大の判断基準。



【活用】



イヌマキは強靭な水回り材や防風林として、ラカンマキは緻密で美しい庭木として活躍。



【文化】

実の形を僧侶に見立てるユーモアや、「家を守る」という慈愛の花言葉を持つ文化的にも豊かな樹木。



材として、庭木として、日本の気候風土に寄り添い続けるマキの魅力。

Gemini Notebook